

# 大会宣言

## 【宣言者】

関根 摩耶  
関根 健司  
関根 真紀

## 《関根摩耶》

今から8年前の平成21年2月、<sup>こくさいれんごうきょういくかがくきかん</sup>国際連合教育科学機関ユネスコが、世界の消滅の危機にある言葉の地図を発表しました。世界で2,500ほどの言葉が消滅の危機にあるとされる中、日本では八つの言葉が消滅の危機にあるとされています。その八つとは、アイヌの言葉、<sup>はちじょう</sup>八丈の言葉、<sup>あまみ</sup>奄美の言葉、<sup>おきなわほんとう</sup>沖縄本島北部を中心とした<sup>くにがみ</sup>国頭の言葉、<sup>ちゅうなんぶ</sup>沖縄本島中南部の<sup>みやこ</sup>宮古の言葉、<sup>やえやま</sup>八重山の言葉、<sup>よなぐに</sup>与那国の言葉です。

私たち、アイヌ民族の言葉、アイヌ語は、「極めて深刻」と判定され、最も消滅の危機にあるとされています。

文化庁でも、八つの言葉が置かれている状況について調査を行い、ユネスコの発表のとおり消滅の危機にあるという結果となりました。

北海道では、この危機的な状況をいち早く感じてきた私たちアイヌの先輩たちが、ユネスコの発表よりも前の昭和57年から、アイヌ語教室を始めました。道内各地や東京で、アイヌ語を学ぶ人々が増えつつあります。

私の母は平取町二風谷でアイヌ語を学び、父は本州から移り住んでアイヌ語を広める活動に加わりました。アイヌ語を守り、広める動きは、民族を越えて展開しています。

それはどうしてでしょうか。

## 《関根健司》

アイヌの先人は、「言葉は民族の魂」だと考え、その記録と習得に尽力しました。

地域の言葉は、地域の文化の基盤です。日本は、地域ごとに違う多様な文化にあふれ、その多様性が文化の活力の源となっています。そうした多様な文化を支えているのが地域の多様な言葉です。

この多様性を支えるのは、それぞれの言葉や文化を伝承する地域の人々だけでなく、異なる言葉や文化を持つ人々による、ほかの言葉や文化に対する尊重の心、共生の思いです。

アイヌ語は、アイヌ民族の文化を支えるものであり、アイヌ民族だけではなく、北海道で暮らす全ての人々にとって、そして日本に住む全ての人々にとっての宝と言えるものです。だからこそ、アイヌ語を伝えていくということへの理解が少しずつ広まってきたのだと思います。

### 《関根摩耶＋関根健司》

地域の言葉を学び、そのすばらしさを感じている私たちは、ここに、北海道の宝であり、日本の宝でもあるアイヌ語を受け継いでいくことを宣言します。

### 《関根摩耶》

そのためには、北海道で暮らす全ての人々、そして日本全国の人々の理解と協力を得て取り組んでいく必要があります。

わたしたちの宝、北海道の宝、日本の宝であるアイヌ語を、学校の授業だけでなく、家の中や地域においても、いつでも触れられるようにしてください。アイヌ語を学ぶためのテキストや教材を作ることに協力してください。そして、アイヌ語を学んで、使ってみたい気持ちを優しく受け止めてください。

先住民族であるアイヌ民族の心を受け継ぎ、アイヌ文化に誇りを持って生きていくために、アイヌ語に自然と触れられる環境を、皆さんの協力を得て、私たちは、是非作り上げていきたいのです。

### 《関根摩耶＋関根健司》

よろしくお願いします。

### 《関根真紀》

アイヌ語の未来は明るい。

aynuitak ruwetoko peker.

アイヌ民族の心、アイヌ民族の宝であるアイヌ語にこれほどまでに心を寄せてくれる若い人がいるのですから。

aynu ramat ne, aynu kor ikor ne a=kor itak eramaspa pewre utar enepo inne wa siran kusu.

アイヌ語を知っている人、使える人は、若い人の願いに応えていきましょう。自信を持ってアイヌ語を使っていきましょう。

aynu itak eramuan kur, easkay kur anak, pewre utar kasuy yak pirka. somo yaysitoma no, aynu itak

ki yak pirka.

アイヌ語を知らない人は、地名の由来からでもいいです、博物館などの表示からでもいいです、アイヌ語に触れる機会を逃さず、アイヌ語に興味を持ってください。

aynu itak somo easkay kur anak, sinre upaskuma ne yakka pirka, ikoropu or ta a=nuyep ne yakka pirka kusu, aynu itak somo orawki kuni, aynu itak pirkano nu yan.

地域の言葉の使い手は、地域の文化の担い手です。それは、日本の文化の多様性を支える人材だということになります。

itak easkay kur puri ka easkay kur ne. ne wa an kur an kusukeray, imosir ka ta oka inne puri siturpa kuni p ne na.

この北海道における危機言語・方言サミット、そして、この宣言をきっかけとして、全国各地で、それぞれの地域の言葉の価値を見詰め、動き出してくれることを願います。

tan yaunmosir ta 危機言語・方言サミット a=ki wa, orowa, tan yaykurekarpa a=ki okake ta, tan mosir un utar opitta, kor sinrititak ataye esanniyo wa, koarikikipa yak pirka na.

#### 《関根摩耶》

娘 関根 摩耶

#### 《関根健司》

父 関根 健司

#### 《関根真紀》

母 関根 真紀

#### 《全員》

どうもありがとうございました。